

## ◇◇◇◇◇ しなやかに自分らしく ◇◇◇◇◇

父を幼くに亡くし、男親の分も働いた母に育てられた私は、男の仕事・女の仕事と線引きをしてこなかった気がします。

30年近く前の事です。結婚して4人目の子どもの妊娠を機に一般企業勤めは辞め、夫が経営する工務店に事務職として入社しました。男社会の職場は女性の立場が弱く、何を言ってもはじかれるような威圧感が強い男尊女卑そのものでした。前職との職種の違いもあり、感覚の違いに戸惑い、大工職人との会話もままならない日々を過ごしていました。

出産後、大工職人の気持ちを理解し、距離感を縮めて大工の世界を知ったら、受け入れてもらえるだろうかと考えて、十和田職業能力開発校の建築科に入校しました。大工の訓練生として週2回、若い男衆の大工見習と一緒に、<sup>のこぎり</sup>鋸やノミなどの大工道具を使いながら木の組み方を3年間訓練し、卒業に至りました。私は十和田市で初めての女性大工訓練生でした。

卒業して得たのは、女だからと引け目を感じるほどではないと思った事と、周りの大工職人達から少し受け入れられたという感覚でした。あれから、世の中はだいぶ様変わりし、今は大工職人と普通に会話ができる時代になりました。女性大工になりたい人がいれば、応援したいと思っています。

時を経て、2010年の9月に「APEC女性リーダーズネットワーク（WLN）会合」が日本で開催され、私も

参加してみました。会合の中で強く記憶に残っているのが、「育児をしながらリモート会議に参加する女性幹部・女性役員がいる会社」と「女性社員が大型重機や大型車両を運転し、働くことができる会社」という海外のビジネスモデルの報告でした。この会合への参加は「女性だから」と理由付けする自分の考え方について、領域を広げられた気がしました。

少子高齢化や人口減少により、女性の社会進出が必須の世の中になり、社会での責任も増しています。近年では、<sup>エスディーエス</sup>SDGsにもジェンダー平等の実現が掲げられています。男女それぞれの特性を生かし、お互いを理解し、できることから協力しあうことが大切だと私は考えます。ビジネスも家庭も男女共同参画をしてみると新しい発見が結構あり、楽しいものです。

「柳に雪折れ無し」ということわざがありますが、しなやかに考えて自分らしく、未来に向けてシフトを意識し日々を過ごしています。



## ★筆者紹介

岩木 節子さん

あおり女性人財バンク 登録  
あおり女性活躍推進協議会 幹事  
いわ木の家モデルハウス 企画運営  
有限会社 岩木建設 専務取締役

## とわだ産品情報

とわだ産品販売戦略課

検索

申問とわだ産品販売戦略課 ☎ 56743

### 本市出身の大学生などへ特産品を提供 申請期限は6月30日です！

本市出身の大学生などに1万円相当の「ふるさと特産品」をお届けします。対象条件や必要な書類など詳しくは、市ホームページをご覧ください。

### 北里大学十和田キャンパスの学生を応援 本市特産品を提供します！

1万円相当の本市特産品を提供しますので、市ホームページから電子申請で申し込みください。詳しくは北里大学学生課から配布されたチラシをご確認ください。



## 「きみがらスリッパ」生産組合員募集

申問十和田きみがらスリッパ生産組合事務局  
(道の駅とわだ内) ☎ 283611

「きみがらスリッパ」は、デントコーンの皮から編み上げる本市の伝統工芸品です。近年は、授業に「きみがらスリッパ」の製作を取り入れている三本木農業恵拓高校の皆さんとデントコーンの作付けや収穫を行っています。一緒に「きみがらスリッパ」を作り伝える組合員を募集していますので、興味がある人は、ぜひお問い合わせください。

